

中小企業政策審議会レポート

色々な中小企業が有る中、業界や地域などにより抱える問題は様々ですが、政策方針のレジメは良くまとまっていると思います。この先は、共通している課題と、個々の課題とを分けて整理し具体性を持たせる必要があります。

例えば

* 共通している課題には、

人口減少により縮小する国内市場 輸出への期待

人手不足 外国人労働者受け入れの環境整備が遅れている

経営者の高齢化と後継者不足 相続税の負担が大きい

等・・・

* 個別の課題…食品産業としては

円安による輸入原材料の高騰 不要な関税などもあり、国際価格で調達できない

値上げだけでは吸収しきれないコスト 生活産業の為に値上げには限界がある

季節性のある消費環境による、年間平準化の難しさ 残業の制限が壁になる

等・・・

ザックリですが、、

中小企業の経営者は何でも屋。工場長兼、経理部長兼、営業部長兼、総務部長など、激務に追われて色々な情報を収集する時間がない。そのため、同じ課題を抱える業界の組合や地域コミュニティなどの充実による課題解決が有効と考えるが、組合やコミュニティの管理運営にかかる経費負担が厳しい。プラットフォームの活用についてもしかり。

中小企業の稼ぐ力には、独自の技術や個性など **Only One** 企業としての特性が無いと厳しい。大手の下請けだけでは立ち行かなくなる。よって独自性の活かし方など伴奏支援が有効ながら、具体的な支援方法となるとなかなか専門人材がいないのが現実。期待は、個々の企業の内実に詳しい地元の金融機関が、持てる情報を駆使して伴奏支援の窓口となり、有効な情報と適切な人材紹介や補助金の申請、活用方法などの助言により、社内イノベーションの機会を喚起することが有効策の一つと考える。

製造業の人手不足については、一般的には地方に生産拠点を置いているため、地方都市の過疎化や人口の都会集約による人口流出の現象も課題。地方自治体が国はもちろん地元企業と一緒に、地域への移住政策により強力に取り組む必要がある。成功例は多々あるので、自治体のやる気が重要です。

新市場開拓の為に輸出促進は、農林水産省については品目別促進団体の指定による予算等があり、自社の菓子については少しずつですが実績が上がっています。

以上

全日本菓子工業協同組合連合会 理事長
一社)全日本菓子輸出促進協議会 理事長
(株)エイワ 代表取締役 小高愛二郎